

帯広病院 21-4111
 白樺医院 38-3500
 ケアセンター白樺 41-1165
 白樺在宅総合センター 41-1167

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会
 帯広市西9条南11丁目1番地
 0155-21-4718
 発行責任者 今野 光昭
 URL: http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp
 E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

テーマは「在宅を支える」こと。 医療でも介護でも十勝勤医協を頼ってください!

まずは介護認定を受けませんか?

「介護認定はまだ早いかな」「介護認定を受けたらどうなるの?」と迷ったり悩んだりしている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。介護認定をうけることで、いざというときのために備えることができます。また介護状態になることを予防するための公的サービスをうけることもできます。「年齢を重ねても長く元気で生活していきたい」。介護サービスがそのお手伝いの一つになると思います。十勝勤医協では認定のお手伝いをしています。ご相談ください。



短時間デイケア体験会後の介護認定相談の様子

「在宅生活を支える」通所系サービス

私たち十勝勤医協では、3種類の通所事業所を運営しています。デイケア白樺(二日型)・短時間デイケア(リハビリ特化型)、デイサービスは白樺16条にある「ほのか」と音更柳町にある「すずらん」です。機能訓練、リハビリテーションの他、栄養バランスのとれた食事の提供、レクリエーション、入浴サービスなどを利用し、心身の健康を維持促進することが期待できます。87歳女性Aさんは、「立ちすわりが大変になってきた、散

歩や運動も長続きしないと」相談を受け、要支援1の認定を受け、リハビリ特化型のデイケアを利用しています。「送迎してもらえると安心。一週間に1回運動して、人の集まりに参加し、めりはりがつくし、通ってよかった」と話しています。

「在宅療養を支える」訪問診療・訪問看護

病院の待合室では、ご高齢のご夫婦や付き添いの方と来院される患者さんが増え、長時間の待ち時間が負担になることもあります。当院ではこうした状況に対応するため、訪問診療の体制を拡大しています。訪問診療とは、通院が困難で在宅療養を希望される方のご自宅に、主治医が月2回訪問し診察するものです。急変時には臨時往診や入院の手配にも対応し、訪問看護師と連携して採血や点滴も行います。

「老健」も在宅を支える施設です

入所機能を備えている老人保健施設ケアセンター白樺も実は在宅を支える施設です。いわゆる「老健」では通所リハビリの他、訪問リハビリも

てサービスを提供しています。介護サービスの利用はぜひ十勝勤医協で

冒頭でもふれました「介護認定はまだ早いかな」と考えておられる方は、一度ご連絡ください。送迎地域が限定されていますがケアセンター白樺では、リハビリ特化型の短時間デイケアを行っています。

「初めての介護保険」利用にびったりで、お元気(ご自身)でお元気と思われる方もな方でも抵抗なく始められます。また、デイサービスや通所リハビリも、レクリエーションやリハビリだけでなく、「手作業」や「クラブ活動」や入浴を目的に参加されている方もいらつしやいます。職員や他の利用者さんとの交流も楽しみの一つです。

十勝勤医協は医療と介護の複合体です。一人の患者さん・利用者さんをグループ全体で切れ目なく診ていく事を心がけています。ご相談をお待ちしています。

医療と介護の連携で「在宅」を支援します



行っており、長く在宅で暮らしていただけるよう支援しています。ショートステイの機能もあり、ご家族の介護疲れやご用事にあわせて利用することが出来ます。入所機能でも、在宅で生活できる事を想定してリハビリを行っています。リハビリ技術を始め、介護職、看護師、管理栄養士、ケアマネジャーなど複数の職種が連携し

～ご相談はいつでもどこへでも～

- 介護保険の申請・介護に関する総合窓口、通所サービスのご相談
 ☆ 居宅介護支援事業所白樺 Tel 0155-41-1167
- 入院・外来・訪問診療・訪問看護
 ☆ 十勝勤医協帯広病院 Tel 0155-21-4111
- 入所相談・ショートステイ・訪問リハビリ
 ☆ 老人保健施設ケアセンター白樺 Tel 0155-41-1165

聴診器

▼スーパーの棚から米が消え、米価格は2倍以上になった▼政府は「米不足」を認めないが、価格高騰と米不足は自然現象ではない▼「コロナ禍」も理由に「米の消費が減る」ことを想定し21〜22年で50万tを減反。コロナ後の需要増に生産が追い付かず米不足がおこっている。昨年6月の国会で紙智子参議が指摘し備蓄米の放出を提案したが手が打たれなかった▼そもそも、米農家への所得補償が1998年に全廃され、2000年以降の米農家は175万戸から53万戸へ急減▼軍事費の4分の1にすぎない農業予算を増やし、どんな時でも農家の手取りを保障すべき。米不足を口実にした輸入拡大などんでもない。日本の主食をになう農家を支える農政に▼医療の危機も深刻だ▼診療報酬が物価高にも賃金上昇にも見合わず医療機関の6割が赤字経営に。このままでは、ある日突然病院がなくなる▼この緊急事態のさなかに「医療費4兆円削減」が自民党公明党、維新の会で合意され、「11万床の病床削減」計画や高齢者医療の2割・3割負担の対象拡大、高額療養費の負担増、医薬品の保険外しなどの患者負担増が打ち出されている▼消費税減税の実現を求める声が世論調査で7割、8割と広がっている。政治を動かすのは国民の声▼税金は大軍拡、大企業応援でなく福祉やくらしに▼7月は参院選。私たちの願いを実現する絶好の機会だ (S)

つくるろう、みんなので 十勝に「憲法九条の碑」を!

シリーズ②

安倍晋三政権による2014年8月1日の集団的自衛権行使容認の閣議決定、2015年9月19日の安保法制(戦争法)の制定という明白な憲法違反の行為に対し、違憲の判断を求めて道東の217名の方が原告として立ち上がりました(安保法制違憲道東訴訟)。しかし、裁判所は司法の責務を放棄して憲法判断を回避しました。

現在、原告の皆さんの陳述書集の出版準備をしています。ここに戦争を体験された十勝の原告の方たちの陳述の一部を紹介したいと思います。



戦後40年、全国初、那覇市によって建立された九条の碑

「終戦前に私たちの住む新東京にソ連が攻め込んで来た。次兄を含む120名近くの中学生が国境付近に置き去りにされた。兄は帰ってきたが、亡くなった学生もいた。」(小貫耕喜さん)、「帯広空襲により、1歳の乳児から17歳までの6人が犠牲になりました。爆弾と機銃掃射を浴び、子供ながらに恐ろしい思いをしました。同じことを絶対に繰り返して欲しくない。」(吉澤澄子さん)、「入隊おめでとう」という言葉に、それまでにこやかだった親友は「何がめでたいんだ。2年後に死ぬ事に決まった者の気持ちがお前らに分かるか」と障子や襖を蹴破りました。あの時の彼の死の恐怖に怯えた顔を今も鮮明に思い出します。どこまでも話し合うことこそ問題解決の道であることは、憲法9条の神髄です。」(山田克二さん)、「父は、1941年1月10日の早朝、当時小学1年生であった私

の目の前で、特高警察により自宅から連行されて行きました。『北海道綴方教育連盟』に関わったことでの治安維持法違反容疑です。戦争は人間そのものを破壊します。憲法9条は私の人生の支えでした。」(村田歩さん)、「1943年10月21日、明治神宮外苑競技場において開催された出陣学徒壮行会をスタンドで参加しており、その時の光景が今も目に焼き付いています。あのよう若者を戦場に送る光景は二度と見たくない」と強く願っています。」(安達愛子さん)、「1945年7月15日に本別空襲に遭い、父の農業の跡継ぎであった兄と恩師である山内三郎教頭先生を亡くしました。その日のことは、昨日の出来事のように鮮明に覚えています。」(細岡幸男さん)。

共同代表・齋藤 道俊

十勝勤医協 第47回通常社員総会

5月17日(土)、十勝勤医協第47回通常社員総会が開催されました。冒頭、瀬川高志理事長はあいさつで、2025年は無謀な戦争が敗戦によって終結して80年、十勝勤医協が発足して40年の節目の年であり、これまでの40年を振り返り、そしてこれからも続く十勝勤医協の未来を展望して、様々な情勢の特徴についてふれながら、自分達の目指す医療・介護を実現するために、より良い医療・介護・福祉のある日本とするために、私たち自らが行動を起こすこと、十勝の、北海道の、日本の全

ての国民と結びついた大きな運動を作り上げることが、いよいよ大切になっていると話され、総会での旺盛な議論を呼びかけました。

討論では、糖尿病や骨粗鬆症の治療・管理の実践、介護施設での人生最期の願いを支える外出支援やリハビリの実践、平和・憲法を守る取り組み、地域で健康を守る取り組み、職員育成・後継者確保対策など、社員・職員15名から積極的な発言がありました。

引き続き、患者・利用者に寄り添い、地域から求められる医療・介護活動に取り組む



【総会事務局長 片桐 正晃】

ながら、経営改善を何としても勝ち取り、憲法を守り生かす運動を大きく展開すること、健康づくり・まちづくりなどあらゆる活動を共同組織とともに旺盛に取り組んでいくことを確認しあう総会となりました。

第34回 友の会連絡協議会総会



5月24日(土)、第34回友の会連絡協議会総会がとかちプラザで開催され、十勝管内33友の会から代議員81名(代議員定数95名)が参加しました。

開会にあたり山本鉄雄友の会連絡協議会会長からは、「来期の友の会活動の大きな柱に十勝に九条の碑の建立を位置づけ、九条と平和を可視化すること

が可能で、必ずこの取り組みを成功させましょう。そして孤立や孤独の会員をなくし、会員に寄り添い、安心して住み続けられる街づくりを目指し、友の会の活動は、その存在意義をますます確かなものにしていきます。」と友の会の活動の飛躍となるよう熱心な討議が呼びかけられました。

来賓挨拶には、日本共産党十勝地区委員会副委員長佐藤耕平氏、十勝勤労者医療協会理事長瀬川高志氏にお越しいただき、私たちの生活を取り巻く情勢について深めることができました。

真田若子事務局長から2024年度活動総括と2025年度の方針提案の後、活発な

討論が行われました。討論では、会員の健康づくりの取組み、地域に根ざした要求実現の活動、十勝に憲法九条の碑を建てよう!など、計6名から発言がありました。また、十勝勤医協からは、帯広病院の医療活動や健康診断・ワクチン接種の呼びかけ、ストッパ介護崩壊と経営改善の取り組みについて紹介がありました。

提案された議案は満場一致で採択され、共同組織がまちと社会の「資本」であり、共同組織の実践は「地域の福祉力」の向上につながることを、人と人とのつながりを強め「誰もが安心して住み続けられる街づくり」の活動をすすめることを確認しあった総会となりました。

【ファーマケア十勝 小田 幸治】

帯広病院の役割

栄養科は「食事は治療の一環」として、入院患者さんの病気や必要な栄養量に基づき、食べられる量や個々の症状とえん下機能に合わせた、食べやすいおかけの形態（一口大、粗刻み、細かい刻み、ミキサーなど）、味付け（塩分制限など）、治療に必要な栄養素の制限（脂肪制限やタンパク制限）などを管理栄養士がベットサイドに訪問し、患者さんの栄養状態や食事の摂取状況の観察を行い、一人ひとりの栄養状態に合わせた食事を提供できるように努力をしています。

誕生日にはケーキをプレゼントするなど「安心、安全」を第一に、患者さんにおいしく召し上がっていただける食事を提供できるように栄養科スタッフ一同、毎日努力をしています。



外来では患者さんが安心して食事療法を継続できるように、医師の指示に基づき栄養指導を行っています。

また、苦手な食べ物（肉や魚、牛乳、卵など）やアレルギーにも対応しています。

その他、食欲がなく食事摂取量が低下している患者さんには個別に対応を行い、主食をおにぎりや麺類への変更や、のどごしの良いデザート提供、食が細かい方や栄養状態の低下が見られる方には使用する食器の変更や、栄養補助食品の提供などの対応を行っています。



シリーズ⑮



料理の組み合わせや食べ方の工夫、外食や総菜を含めた料理の選び方、調味料の目安量、調理上の工夫や栄養補助食品の紹介など必要に応じた指導を行っています。

日常の食生活の中で疑問や不安に思っている事などがありましたら、管理栄養士がお手伝いをさせていただきます。

栄養指導は予約制ですが、待ち時間を利用した栄養指導も行っていきます。所要時間は30〜40分程度です。

栄養指導に興味のある方、ご希望される方はお気軽に医師・看護師にご相談ください。

【帯広病院 管理栄養士 増川 祐子】



「中性脂肪、コレステロールを下げるには何に気をつけたらいいの？」

「外食したらダメ？」

「食事バランスって何？」

と悩まれている方はいらっしやいませんか？

連携して支援に取り組んだ事例

Aさん（60代）は脳出血での入院・リハビリを経て、当院に転院されました。マヒや言葉が出にくいなどの後遺症があります。仕事が出来なくなつたため、無料・低額診療の適用相談を含めてのご紹介でした。Aさんが一人暮らしで頼れる親族もおらず、様々な分野で支援が必要な状態でした。仕事が出来ず退職となった後の国民健康保険の加入手続きは、帯広病院の相談員が代行し市役所に行き、支援しました。

ました。ご本人は自宅に戻りたいとの思いがあり、リハビリに積極的に取り組まれています。その思いに添えるべく、後見制度の決定まではかなりの時間を要するため、並行して居宅介護支援事業所白樺にも相談し、介護サービス調整の準備も始めています。家族の形が多様化して行く中で、家族がいても頼れない、身寄り（支援してくる方）がいない高齢者が増加してきており、我が国が超高齢社会となる中で支援を必要とする方は増加する一方です。まだまだ社会制度が追いついていない状況もありますが、地域の中で様々な方々と連携し、また、制度の整備を訴えていくなどの活動を推進し、地域の中で安心してくらしていただけるよう支援していきます。

医療・介護の現場から

シリーズ ⑬

日常の食生活の中で疑問や不安に思っている事などがありましたら、管理栄養士がお手伝いをさせていただきます。

【帯広病院 事務課長 浅野健太郎】

「友の会ニュース」配布にご協力ください

十勝勤医協が毎月発行する「友の会ニュース」は、十勝管内の約16,000人の友の会の皆さんに、各地域世話人さんから主に手配りで配布されています。しかしながら、世話人さんの高齢化や転居などにより配布者が減少、配布が困難になっている地域もあります。月に1回の配布にご協力頂ける方を募っています。ご連絡は各地域の友の会事務局(本誌4面下部に掲載)にて承ります。ご協力をお願い致します。



友の会連絡会コーナー 〇二五五二二・四二四四 生き生き広場

読者の声

友の会ニュース、毎回届けていただきありがとうございます。社会ニュース、クイズ、楽しみにしています。後期高齢者のため、体、頭、たくさん使って毎日過ごしていきます。

茅室町 香川 慶子さん

「無差別・平等の医療」を理念とし、地域に根ざした医療の提供をめざした日夜奮闘されている職員のみなさんには、いつも敬意を表しています。他の病院とは大違いで患者への接し方(やさしさ)、どんなに忙しくても笑顔で仕事に一生懸命取り組んでいる姿は本当に素晴らしいと思います。

友の会ニュースを読むと、

より深く知ることができ、毎号楽しく読んでいます。

音更町 植村 齊さん

社員総会に今年も参加させていただきました。十勝勤医協設立40周年の節目、設立総会も同じ場所だったように記憶します。法人の設立、帯広医院の開院、病院化、ケアセンター白樺立ち上げなどなど、大変な運動に力を尽くしてくださった多くの方々を思い起こしています。

それぞれの専門職からの熱い報告が続きました。

創設からを担当した者として、おひとりおひとりの若かりし日が目に浮かびます。四十年の歴史の中で努力し成長され、立派に十勝勤医協を背負っておられることに感無量です。

理事長挨拶をはじめ、国の医療福祉切り捨て政策による経営の厳しさがひしひしと伝わりました。いつどの病院が倒産しても不思議でない現状、そしてそれは十勝勤医協かもしれないのだと。

勤医協をなくすわけにはいきません。何よりも

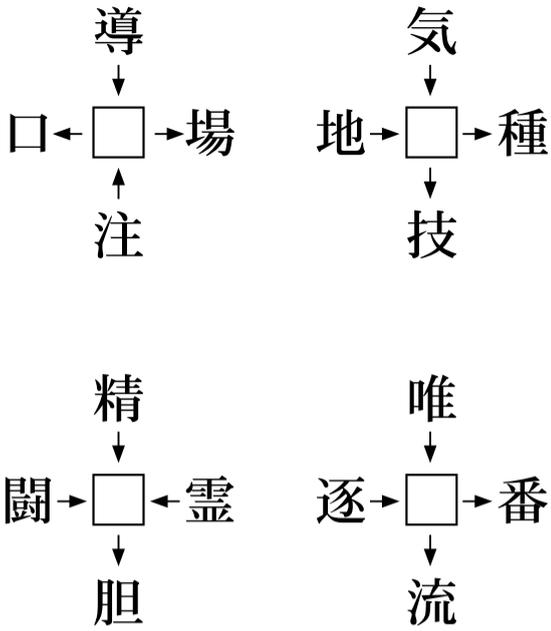
医療や介護を重視する政治に変えなければなりません。選挙が近づきます。弱い者いじめの政権には退陣してもらいましょう。

帯広市 本川 栄子さん

頭の体操

次の口(漢字)を入れて二字熟語をつくり、口の漢字を並べ替え〇の中に入れて、四文字熟語を完成させてください。

出題者はペンネーム シエさんです。
【ヒント】一つ一つに全力を注ぐ姿は、見ていてとても元気が出ます。



【答 え】〇〇〇〇
(漢字でご記入ください)

【応募方法】

解答とお名前、住所、電話番号をハガキかメールで左記へお送りください。「友の会ニュース」へのご感想、ご意見などを添えて頂ければ、可能な限り紙面でご紹介いたします。(匿名希望の方はペンネーム可)

【宛 先】

〒080-0019
帯広市西9条南11丁目1番地 十勝勤医協会館内
友の会ニュース編集部
〇メール
soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

【賞 品】

抽選で10人の方に、千円分の図書カードをお送りします。

【締め切り】

2025年7月20日(当日消印有効)。発表は第496号(9月号)紙上です。

【第492号の当選者】

答えは「五月人形」でした。応募総数106通、正解者106通の中から抽選により、次の10人の方が当選しました。(敬称略)

- 江口 厚子 佐藤 晴子
- 中尾 智子 仲野喜美恵
- 西岡 秀樹 (帯広市)
- 赤岡 順子 (足寄町)
- 植村 齊 (音更町)
- 江崎紀美子 (中札内村)
- 西内 邦夫 (芽室町)
- 山本 泉 (陸別町)

健康相談会のご案内

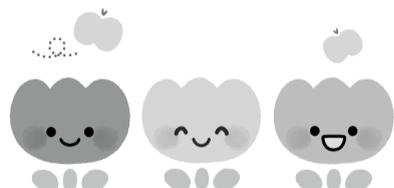
※日程が変更になる場合があります。詳細は担当までお問い合わせください。

どなたでもお気軽にご参加下さい。

友の会	テーマ	日時	場所	担当・連絡先
新 緑	緩和ケアについて	7/16(水) 14時30分～	白樺医院	瘧師 光枝 090-7650-5517
栄	高齢者施設あれこれ(種類・入居対象者・料金など)	7/16(水) 15時～	栄福祉センター	本川 栄子 0155-34-6547

友の会行事案内

友の会	内 容	日 時	時 間	場 所	担当・連絡先
西 南	ふまねっと	7/10(木)、7/31(木)	10時30分	中央福祉センター	麻生 恵子 22-1613
西 帯 広	ふまねっと	7/8、15、22、29(火)	10時～12時	西福祉センター	野坂 潤子 080-4046-2729
開 西	カラオケ	7/11(金)	11時～	ドン・キホーテうたや	岡本 顕 090-6446-5521
	卓球	毎週月曜日	13時～	コスモス福祉センター	
上 士 幌	ふまねっと	7/5(土)、7/19(土)	9時30分～	西10号会館	石澤 英子 090-5988-6400
	ふまねっと	7/9(水)	10時30分	ふれあいプラザ(ロビー)	
	ふまねっと	7/12(土)	10時30分	7区北地区集会場	
	ふまねっと	7/14(月)	10時30分	11区西地区集会場	
	ふまねっと	7/17(木)	10時30分	南地区集会場	
	ふまねっと	7/8(火)	10時30分	ふれあいプラザ火曜日コース	
札 内 西	健康広場	7/22(火)	10時～11時	ふれあいプラザ	山本 和子 01564-2-3089
	ふまねっと	7/17(木)	14時30分～	春日近隣センター	
札 内 東	パークゴルフ	7/10(木)	10時～	PGエルムコース	岡崎 節子 56-4432
音 更 北	ふまねっと	7/17(木)	14時30分～	春日近隣センター	鈴木志摩子 56-6757
新 緑	ふまねっと	7/12(土)	10時～11時半	音更総合福祉センター	酒井 知子 42-3387
緑 西	ふまねっと	7/24(木)	13時～	緑ヶ丘福祉センター	瘧師 光枝 090-7650-5517
芽 室	朝ウォーキング	毎週水・金曜日	6時～	19条4丁目マックスパルビュー向かい集合	村上久美子 33-6852
栄	笑いヨガ	7/1(火)、7/15(火)	13時30分～	芽室中央公民館2階	梅津 美政 62-2859
栄	ふまねっと	7/16(水)	14時～	栄福祉センター	佐藤 久輝 090-8909-3015



2025十勝勤医協健康フェスタ

日程 2025年10月5日(日) 10時～13時

会場 とかちプラザレインボーホール
ギャラリー・アトリウム

企画内容などは決まり次第お知らせします。

各友の会連絡先

- 【音更東】 守屋 敏紀 一五五三二二〇八四
- 【音更西】 神長 基子 〇九〇八九〇六二二二二
- 【音更南】 野口 清子 一五五三二二二二二
- 【音更北】 中嶋 晴子 一五五三二二二二二
- 【上士幌】 和田 鶴子 一五六四一七四四三三
- 【上士幌】 山本 政俊 一五六四一七四四三三
- 【新 得】 土山 武志 一五六四一七四四三三
- 【清 水】 田中けい子 一五六六三三三〇五六
- 【麗 追】 武田 耕次 一五六六三三三〇五六
- 【芽 室】 梅津 美政 一五六六三三三〇五六
- 【大 樹】 有岡千恵子 一五八七二二四三三〇
- 【幕 別】 小林 正明 一五八七二二四三三〇
- 【札 内 東】 鈴木志摩子 一五五五六一六六五七
- 【札 内 西】 岡崎 節子 一五五五六一六六五七
- 【忠 類】 増田萬里子 一五五八二二四三三〇
- 【池 田】 岩本 正雄 一五五七二二二二六三
- 【豊 頃】 岩井 明 一五五七二二二二六三
- 【陸 別】 黒沼 明美 一五六一二二二二〇〇〇
- 【東 川】 山口久美子 一五五七二二二二六三
- 【光 南】 加藤 昌明 一五五七二二二二六三
- 【鉄 南】 牧野美智子 一五五七二二二二六三
- 【中 央】 吉沢 澄子 一五五七二二二二六三
- 【栄 一】 佐藤 久輝 一五五七二二二二六三
- 【開 西】 岡本 顕 一五五七二二二二六三
- 【西 帯 広】 野坂 潤子 一五五七二二二二六三
- 【西 南】 麻生 恵子 一五五七二二二二六三
- 【緑 ヶ 丘】 堀田 省悟 一五五七二二二二六三
- 【白 樺】 武井 純子 一五五七二二二二六三
- 【新 緑】 瘧師 光枝 一五五七二二二二六三
- 【柏 林 台】 横塚恵利子 一五五七二二二二六三
- 【緑 西】 村上久美子 一五五七二二二二六三
- 【稲 田 北】 藤田 麗子 一五五七二二二二六三
- 【稲 田 南】 藤田 功 一五五七二二二二六三
- 【川 西】 原 正子 一五五七二二二二六三
- 【大 正】 岡山 幹男 一五五七二二二二六三